

実践報告

令和元年度教員免許更新講習実践報告

—専門科目バレーボール—

The teacher's license update lecture practice report in 2019

—The special subject volleyball—

佐藤 亮輔 杉山 仁志 飯田 周平*
Ryosuke Sato Hitoshi Sugiyama Shuhei Iida

*国士舘大学

Abstract

A teacher's license update system was introduced from 2009 April 1st by the formation of the revision teacher's license law in June, 2007.

There was request from the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology and the Saitama Prefecture school board, too, in the science and it implemented a teacher's license update lecture with tenth time in this year.

In this report, it implements a questionnaire survey for the volleyball which was implemented as the special subject from the inside at the update lecture which was set about this year (2019) science.

It had a purpose of getting a necessary data from the result in the future of implementing a lecture when. In the future, it thinks that the things such as "making an attendance object clear" become necessary with the step of whether or not "to examine contents" or the participant recruitment.

キーワード：教員免許、更新講習、バレーボール

Key words : Teacher's license, update lecture, volleyball

I はじめに

平成 19 年 6 月の改正教育職員免許法の成立により平成 21 年 4 月 1 日から教員免許更新制度が導入された。

教員免許更新講習は、その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊厳と信頼を得ることを目的としている。

基本的な制度設計は、終了確認期限前の 2 年間に大学などが開設する 30 時間の免許状更新講習を受講・修了した後、免許管理者に申請して終了確認を受けることが必要となる。

更新講習の受講対象者は、現職教員・教員採用内定者・臨時任用（または非常勤）教員リストに登録されている者・過去に教員として勤務した経験のある者などである。

更新講習を開設できるのは、大学・指定教員養成機関・都道府県教育委員会などであり、担当するこ

とが出来る講師は、大学の教授・准教授・講師または、教育委員会の指導主事などである。

更新講習の内容は、教育の最新事項に関する事項（12 時間以上）と教科指導、生徒指導、その他の教育の充実に関する事項（18 時間以上）であり、受講者の専門や課題意識に応じて、開設する講習の中から選択することとなっている。¹⁾

武蔵丘短期大学（以下「本学」とする）では、文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度 10 回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（令和元年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。また、今年度に関しては、前半である令和元年 8 月 7 日（以下「前半」とする）と後半である令和元年 8 月 22 日（以下「後半」とする）の 2 回実施した。

その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

Ⅱ 調査方法

1. 調査対象

本学で開催した教員免許更新講習の中から、専門科目として設定したバレーボールを受講した 45 名（前半：23 名、後半：22 名）。

2. 調査方法

更新講習終了後、受講生にアンケート用紙を配布した。

記入にあたっては、時間制限をせずに実施した。

講習内容 4 時限のうち、4 時限目の試験を除いた 3 時限分について、それぞれの時間毎に記入できるようアンケート用紙を作成した。なお、3 時限目の講習内容は、前半と後半で違う内容であったため、本報告の結果では 1 時限と 2 時限のみとした。これは、このアンケート調査の過去や今後のものを比較・検討及び、追跡調査等をしやすくするためである。

また、各項目に自由記述の欄を設け、受講生の自由な意見を引き出せるよう配慮した。

回答数は、受講生 45 名のうち 45 名（有効回答数 100%）であった。

Ⅲ 結果

1. 受講理由

本学で教員免許更新講習を受講した理由を下記の 5 項目で質問した。なお、複数回答を可とした。

- ①自宅から近い
- ②受講科目に関心があった
- ③現在の教育（指導）に役立つ内容だった
- ④本学の教員と面識があった
- ⑤その他（自由記述）

結果、①12 名②24 名③9 名④7 名⑤17 名であった（図 1）。

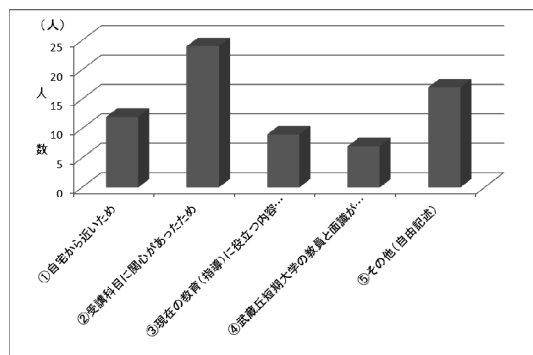


図 1 受講理由

なお、⑤その他での記述には、以下のような内容が挙げられた。

- ・今までに講習を受講された先生方から受講内容の評判が良かったため。
- ・親族に卒業生がいるため。
- ・卒業生であるため。
- ・車通勤ができるため。
- ・教育現場で即役立つ内容ではないかと考えたため。
- ・食堂、駐車場の充実。
- ・1 回目はこちらでお世話になったため（非常に良かったので）であった。

2. 講習内容

講習内容をそれぞれの時限毎に下記の 5 項目で質問した。なお、項目選択の理由を自由記述とした。

1) 1 時限目（講義）

主な内容：実技の説明及び指導方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった
- ⑤その他（自由記述）

結果、①11 名②19 名③9 名④4 名⑤2 名であった（図 2）。

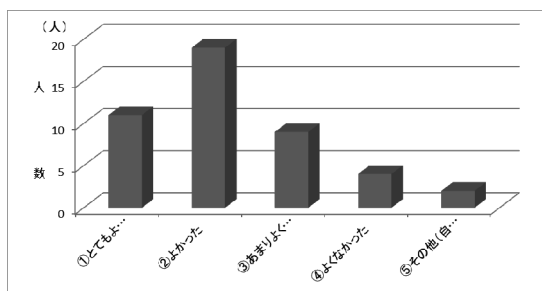


図 2 講習内容（1 時限講義）

①を選択した理由としては、「時間配分が大変余裕をもった内容であった。授業を想定した内容で理解しやすかった。」「説明がとても丁寧で、質問に対しても丁寧に答えてくれました。資料をたくさん用意していただきありがとうございました。」などが最も多く 6 名あった。次いで「講義内容を丁寧に教えていただき、実技の見通しをしっかりと持って取り組めた。また、内容も授業で使えるものであった。」

「熱心な話がすごくよかったです。」などであった。

②を選択した理由では、「1日の流れの説明を詳しくしていただき、先生側からの質問や実技指導に向けて可能な要望なども聞き入れてくれました。」「基礎的技術の組み合わせと指導法(理論)と1日の流れについてわかりやすい説明があり、ゆとりをもった時間が持て、2時限目に向かって気力がわいてきました。」「川合先生のお話が聞ければなお。ただ、先生方のバレーボールに対する思い入れが再度確認することができ、とても良かった。」「講習内容の説明では、実際の授業に使えるような練習の紹介があったので、ぜひ実施してみようと思いました。また、Aクイックなどの攻撃パターンは素人ゆえなかなかわからなかったもので、どのように動くのかわかりやすく図説があり助かります。「コーチの資質」、「バレーボールを愛する人との出会いと成果」の内容はとても心を打たれる内容で「その通り」だと感じました。ぜひ、川合先生ご自身の口からお話をうかがいたかったです。」「バレーボールは必ず授業で行うので、とてもためになりました。特に女子はアンダーハンドよりもオーバーハンドが苦手なので、持ちかえて実践しようと思う。」などであった。

③を選択した理由では、「先生方の諸用があり、とても早い時間で終了してしまいました。資料は読ませていただいたが、いろいろなお話を直接聞きたかったという物足りなさを感じる。」「時間が余っていたのでとてももったいなかった。結果的には先生たちとバレーができて楽しかったのですが……。例えばGWで、他の先生たちとバレーに関する情報交換などできたらいいなと思った。」などであった。

④を選択した理由では、「より専門的な話を聞くことができなかったから。」などであった。

⑤を選択した理由では、「川合先生の話が聞けなくて残念でした。」であった。

2) 2時限目(実習・実技)

主な内容：レシーブ、トス、スパイク(3段攻撃)における練習方法

- ①とてもよかった
- ②よかった
- ③あまりよくなかった
- ④よくなかった

⑤その他(自由記述)

結果、①29名②15名③1名④0名⑤0名であった(図3)。

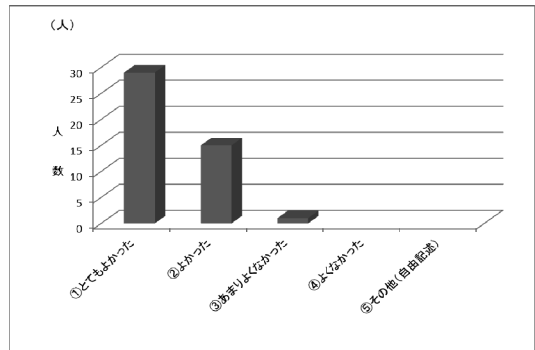


図3 講習内容(2時限実習実技)

①を選択した理由としては、「バレーボール部(女子)の生徒が見本となって指導やアドバイスをしてくれていたので、体験しながら生徒側の立場や先生になって指導するときのポイントなどが理解、勉強することができました。」「1時限目に見通しをもったものを自分で動きながら、より深く学ぶことができた。動いてみるとわからない部分も出てきたが、バレー部の生徒さんが丁寧に教えてくれたため、とてもわかりやすかった。また、ゲームはやはり楽しいと感じた。」など、本学女子バレーボール部員と一緒にできたことが最も多く11名であった。次いで「授業では直上→オーバー(アンダー)は無理だと思ってやらせてなかったが、やってみてもいいのかなと思った。4人組での練習も段階を工夫すれば盛り上がりのある練習になると思った。オーバーの手の作り方で自分の手首を持つのは、注意したうえでぜひやってみたいと思った。」「オーバーハンド、アンダーハンドのしっかりとした手の組み方によってA,Bのクイックや時間差攻撃がしっかりとでき、スパイクが成功すると大変気持ちがよかったです。ゲームも大変おもしろくできました。もっとやりたかった。」など、技術的なことであった。他には「バレーボールという専門外の種目において、指導のポイントをわかりやすく説明していただき、さっそく現場(授業)で使ってみようと思いました。また、普段「やらせる」側の感覚にいつのまにか慣れてしまい、やってみての難しさや生徒の気持ちを想像する機会にもなり、より配慮をもって指導にあたろう

と思いました。」「基本的なことから応用的なことまで短時間で簡潔に要領よく指導して頂いた。とても楽しく運動できたので、子どもたちの気持ちになれた。」などであった。

②を選択した理由では、「特にオーバーパスの説明がとてもわかりやすかったです。見本の先生の手首の動かし方がとてもわかりやすかったため、是非授業で使おうと思いましたが、いざ自分がやってみると全くできず、改めてバレーの先生方は手首の柔軟性が高いことがわかりました。また、アンダーに比べてオーバーができない理由もよくわかりました。これからは手首が固い分、他の関節をうまく使えるよう意識して取り組んでいきたいです。」「現場で指導していて、教え方に困る場面がたくさんあるので、その改善の手がかりになる内容だったから。ゲームがとても充実していた。雰囲気作りの大切さを改めて感じたから。」などであった。

③を選択した理由では、「中学 1 年生の女子の中で運動の苦手な生徒でも「できる」、「楽しめる」授業のやり方が知れたかった。」であった。

3. 講習内容

今回の教員免許更新講習（専門科目バレーボール）を受講して、全体的にどのような感想を持ったかを自由回答で質問した。前半の主な回答内容は以下のとおりである。

・実技の時間ももう少しあっても良いと感じました。授業等に生かせる内容がたくさんあるので、もっと知りたいと感じました。上手な学生と一緒にやってくれたので、技能が引き上げられて良い経験になりました。また、嫌な顔せず手伝ったり、プレーしたりする姿を見て今の中学生にも見せたいなと思うくらいとても良い学生たちで素晴らしいと感じました。バレーボールだけではなく、道徳的な部分でもとても参考になりました。ありがとうございました。

・今回の講習では、バレーボールの基本から実技への理解や実際現場で有効な指導方法を学ぶことができました。専門種目ではない教員は、こういった講習会や指導を受けることで、より段階をふんだ指導や、レベルが上達した生徒に対して的確なアドバイスができます。バレーボールを教えるにあたっては、学年や生徒のレベル、能力を分析して導入や指

導していかないと、全員が楽しく競技を学ぶことが難しいので、今回のように基本から動作ドリルなどを学ぶことができてよかったです。

・貴重な資料も提供していただきありがとうございました。実際に授業で生徒たちに伝えられる指導方法も大変参考になりました。今後の授業で生徒たちに還元していきます。また、資料で「コーチの資質」も大変勉強になりました。様々な指導場面で自分なりに活用します。本日は、一日ご指導ありがとうございました。

・オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、サーブカットからスパイクと学生さん達にプレーしていただきながら、ポイント、気をつけるべき点を教えていただき、とても楽しかったです。学校に帰り、生徒達に還元できそうです。

次いで、後半の主な回答内容は以下のとおりである。

・3 日目ということで、疲労がたまってきていました。それを考慮して実技を 1 コマにさせていただけたのだと思いますが、大変助かりました。気持ちはまだまだと思う部分もありますが、2 コマ実技となると、肉離れ等がこわかったのでありがとうございました。来年度以降も、60 歳を超えた方も参加しますのでよろしく願います。

・初めての教員免許更新講習でしたので、大変勉強になりました。ありがとうございました。実技講座に関しては、やはり自ら体を動かして、やってみて感じる学び、難しさを実感することで知識、技能を獲得できると感じますので、もう少し実技の時間をとっていただいてもよかったですのかなと感じました。また、前期では女子バレーボール部の学生の見本もあつたとお伺いして、ぜひ見てみたかったなという気持ちはあります。しかし、大変わかりやすく説明していただいたり、午後の講義も興味深い内容で勉強になりました。ありがとうございました。

・パスの行い方やパスの練習方法については、実際に指導していても難しいところがあるが、それが改善できるような内容で良かった。生徒に取り組みせるには少し難易度が高いものもあつたが、逆に挑戦させて意欲につなげようと思う。外傷・傷害については、バレーボール以外の競技でも起こりうる事なので、特に脳震盪の対応は勉強になった。

・先生方とバレーボールをするのは楽しかった。せっかく他の中学や高校の先生方がいらっしやっただので、「本校のバレーボールの授業の導入」等の題材でグループワークをやりたかった。

IV 考察

アンケートから、質問項目1の本学で受講した理由では、「受講科目に関心があったため」が最も多い結果であった。多くの教員が専門で行ってきた内容以外の担当となり、指導にあたっての知識、技能を高めたいと考えていることが推察される。また、「現在の教育（指導）に役立つ内容だったため」も同様と思われる。次に多かった「その他（自由記述）」では、前年度受講した先生や、同僚からの評判が良かったが最も多かった。更新講習の宣伝効果としては、先生方の口コミによるものが多いと考えられる。次の「自宅から近いため」については、小・中・高の教員が夏休み中であっても激務であり、遠方まで研修に行く時間がないため、自分の母校等より自宅に近い本学を選んだことが推察される。「本学教員と面識があったため」については、その他を選択した回答の記述において、同僚等の紹介が数名あった。つまり、直接的でなくとも本学の教員が、中学・高校の教員と部活動や何らかの関わりがあることが、講習先に本学を選択した要因となったことが考えられる。

質問項目2の1) 講義（1限目、実技の説明及び指導方法）では、②よかったが最多で、次いで①とてもよかったであった。項目選択の理由から、講義内容が受講者にとって有益であったことが読み取れる。また、バレーボールを専門としていない指導者からも同様の意見であったことから、指導者として参考になる内容であったと思われる。③あまりよくなかった、④よくなかった、⑤自由記述の理由では、担当講師からより専門的な話を直接聞きたかったなどであり、今後の検討課題としたいと考える。

質問項目2の2) 実習実技（レシーブ、トス、スパイク（3段攻撃））では、「学生が見本となって指導やアドバイスをしてくれた」といった意見がもっとも多かった。これは、本学学生をデモンストレーターとして、受講者に目で見分けるようにしたことが評価につながったと思われる。また、「自分が

体験することによって、難しさなど生徒の気持ちになれたので、より配慮をもって指導にあたろうと思った。」との意見もあり、本学学生と対象者が一緒に行うことにより、受講者が自校の生徒の気持ちを理解し、今後の現場で活かされるものだと考えられる。次に多かった「基本的な技術練習方法を確認することができ、現場での授業に活用できるものであった」に関しては、今回受講した先生方が普通の授業でいかに困っていたかが伺えることができ、実習実技を取り入れたことが評価につながったと思われる。③あまりよくなかったでは、「中学1年の運動が苦手な女子」という限定的なものであったので、そういった受講者に対しての実習実技内容を今後の検討課題としたい。

質問項目3（講習全体）では、自由記述とし、多くの意見が寄せられた。受講生それぞれの視点によって言い方は違うが、大半は受講内容が良かったという内容であった。今後も大半は良かったと言ってもらえるように、本学において教員免許更新講習を実施していくにあたり、様々な意見に対処していくことも今後の検討課題である。

V まとめ

平成19年6月の改正教育職員免許法の成立により平成21年4月1日から教員免許更新制が導入された。

本学では文部科学省及び埼玉県教育委員会からの依頼もあり、本年度で10回目の教員免許更新講習を実施した。

本報告では、今年度（令和元年度）本学において設定した更新講習の中から、専門科目として実施したバレーボールを対象とし、更新講習終了後に受講者にアンケート調査を実施した。その結果から今後講習を実施していくにあたり、必要な資料を得ることを目的とした。

受講内容では、「とてもよかった」、「よかった」が多くの意見であった。また、今年度の講習では以前の講習に比べ、「初心者や出来ない生徒への指導もしてほしかった」などの要望が少なかった。今後、本学で教員免許更新講習を行っていくうえで、「講習内容の検討を行う」か、あるいは受講者募集の段階で「受講対象者を明確にする」といったことが必

要になると考えられる。「講習内容の検討」を行ううえにおいても、専門科目においては、「専門性を強調し、高度の内容を実施していく」のか、「現場の授業での初心者向けの内容を中心とする」のかを考える必要がある。その「現場の授業での初心者向けの内容」の講習を行うにしても、「中学校」が対象なのか「高等学校」が対象なのか、「男子」が対象なのか「女子」が対象なのかといったことも検討していく必要があると考えられる。

また今年度は少数ではあったが、実技の時間をもう少し増やしてほしいとの意見があったので、時限の時間配分も検討課題である。

そして、本報告を含めてアンケート調査を過去 9 回実施しており、来年度も実施を予定し、各年度における比較・検討及び、追跡調査も必要と考える。

本報告では、以上の点を検討する必要性を示唆する資料となった。

【参考文献】

- 1) 文部科学省ホームページ：教員免許更新講習